

# 「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 7 月 1 日

事業名称		人事管理事務費 [ 正職員の採用及び臨時職員の雇用 ]									
予算科目	款	2	総務部	項	1	総務管理費	目	1	一般管理費	事業番号	2
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	職員		課		人事給与		係		課長名	矢吹 勇一	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	行 - 2		
【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現								総合計画書 (ページ)	122		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	①正職員の採用 東大和市役所に入職を希望する受験生(一般事務) ②臨時職員の雇用 職員の産休・育休等による代替が生じた職場				①採用試験の受験者数 ②代替職員が必要となった職場数						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
この仕事の目的	①市が求める人物像に一致した人材を採用し、職場の活性化が図れる。 ②臨時職員が適正に配置され、円滑かつ効率的に事務執行がなされている。				①採用人数 ②臨時職員を配置された職場数						
	③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績		令和2年度目標	令和3年度目標		
	対象指標	①の数値	人	①317 ②17	①246 ②20	①298 ②20					
	成果指標	②の数値	人	①13 ②17	①13 ②20	①13 ②20					
	目 標	②の目標値	人	①13	①13	①13					
目標値設定の考え方 退職職員人数分や市の定員等を充足させるための人数											
活動指標	③の数値	回	①1 ②29	①1 ②31	①1 ②33						
3 経費	事業費(実績)		円	36,665,022	41,111,985	41,835,070		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)			
	財源	一般財源	円	36,665,022	41,111,985	41,835,070					
		特定財源	円	0	0	0					
		(うち受益者負担)	円	0	0	0					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	1.3	1.3	1.3					
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0					
		職員人件費(再任用以外)	円	1,072,890	1,071,720	1,080,300					
職員人件費(再任用)	円										
事業費+人件費		円	37,737,912	42,183,705	42,915,370						
4 環境変化等	(1) 開始年度		- 年度								
	(2) 環境の変化		①年度毎に退職者人数が変化するため、その年度ごとに採用人数を検討している。 ②正職員数が減少する中、欠員への対応及び正職員の産休・育休等に伴い、行政運営を円滑に担っていくために雇用している。								

事業名称	人事管理事務費 [ 正職員の採用及び臨時職員の雇用 ]			
担当部署・課長名	職員	課	人事研修	係 課長名 矢吹 勇一

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について ②臨時職員の処遇改善について、市議会で取り上げられてる。
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可) <input type="checkbox"/> 取り組んだ <input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない 取組手法： 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体： ) ⑦後援・場の提供 ⑧その他( )
7 課題	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 (1)平成31年度に課題とした内容(「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(2)を転記) ①自治体間において、優秀な人材を確保するために様々な取り組みがある中、東大和市では翌年度に向けた採用試験の日程を他の自治体より早めることの準備をした。 ②地方公務員法の改正に伴い、令和2年度から、会計年度任用職員制度への移行の準備を行った。 (2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。 ①(1)に記載した通り、31年度については採用試験を6月に実施し、8月には内定を出すことでより人材を確保することが出来た。 ②新制度である会計年度任用職員制度導入に向けて、国・都及び他市の動向を調査するとともに、制度設計を構築した。 (3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) ①第1次試験の実施方法の検討(web試験やセンター方式等) ②新制度を運用していく中で、様々な運用上の課題が出てきている。これらを踏まえ、引き続き適正な運用に努める。
8	施策貢献状況(この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。) 施策名： 効率的でスリムな行財政運営の実現 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある(事業名： )
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など) <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 ①今後も組織運営をしていくにあたり、優秀な人材を確保するため、試験方法の検討を行っていく。 ②組織、予算、関係課と連携のうえ、会計年度任用制度の運用の適正化に努める。 (2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 ①採用試験委託業者や他市を参考にし、必要な調整や準備を行っていく。 ②一般事務の職については、来年度公募による選考を行う。